

# 世界の 都市総合力 ランキング

Global Power City Index 2014

概要版



2014年10月



「世界の都市総合力ランキング」(Global Power City Index, GPCI)は、地球規模で展開される都市間競争下において、より魅力的でクリエイティブな人々や企業を世界中から惹きつける、いわば都市の“磁力”こそが「都市の総合力」であるとの観点に立ち、世界の主要都市の総合力を評価し、順位付けしたものである。

森記念財団都市戦略研究所は、2008年に初めてGlobal Power City Indexを発表して以来、毎年、新たな調査をもとに、そのランキングを更新してきた。現在では、代表的な都市指標の一つとして高い評価を得ており、国や東京都のみならず世界のさまざまな場所で政策・ビジネス戦略の参考資料として用いられている。さらに、当研究所では国際会議や講演などを通じて、世界の主要な研究機関とも、都市の競争力をテーマに活発な意見交換を行ってきた。

GPCIは情報の更新やデータ収集法の改良によって常に進化を遂げている。GPCI-2014では、環境分野をはじめとして、いくつかの指標データについて精査・改善を行った。さらに、都市における効率性や正確・迅速さ、安全・安心等に注目する「都市の感性価値」を試験的にGPCIに組み込んだ結果(GPCI+)を算出した。

これらの結果を見れば、東京をはじめとする世界の諸都市が持つ魅力や課題を再認識いただけるだろう。また、この調査結果が都市政策や企業戦略の立案に役立てられることを期待したい。

なお、本ランキングの詳細な調査結果は『世界の都市総合力ランキングYEARBOOK 2014』として2014年12月に発刊を予定している。ここでは、調査方法、各都市ごとのスコア・順位の分析、指標の定義、データ・ソース一覧等を詳細に掲載しているので、ぜひご参照いただきたい。

## 世界の都市総合力ランキング(GPCI)の特徴

1. 都市の総合力を分析し順位付けする調査研究として、日本初の取り組みである。
2. 特定分野(「金融」や「住みやすさ」等)ではなく、都市の力を表す様々な分野を対象として都市の総合力を評価したランキングである。
3. 世界を代表する主要40都市を選定し、都市の力を表す主要な6分野(経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセス)と、さらに現代の都市活動を牽引する4つのグローバル・アクター(「経営者」「研究者」「アーティスト」「観光客」)ならびに都市の「生活者」という5つのアクターの視点に基づき、複眼的に都市の総合力を評価している。
4. 各都市の強みや弱みを明らかにしながら、克服すべき課題を明らかにしている。
5. 都市研究に関する世界的権威であった故・ピーター・ホール卿をはじめとする学識者によって立案され、各界の有識者の参画と、国際的な専門家によるピアレビュー(第三者評価)を得たランキングである。

# 1. GPCI-2014で明らかになった主なポイント

## Key Findings

- ◆ 総合ランキングにおいて昨年に引き続き1位となったロンドンは、さらにスコアを伸ばし、2位のニューヨークとの差を広げた。
- ◆ 東京は昨年に引き続き総合ランキングにおいて4位となったが、弱みであった文化・交流分野においては8位から6位へと上昇した。これは、2013年の外国人旅行者数の大幅な増加などによるものである。
- ◆ 総合ランキングにおいて上位にあるシンガポール(5位)とソウル(6位)は、いずれも昨年に続いてスコアを上げ、東京(4位)との差を縮めた。
- ◆ 都市の「感性価値(人の感性に訴える力)」を加味したランキング(GPCI+)においては、東京は総合ランキングで3位となった。これは東京が公共の場における安心感、住民の親切さ、国際空港の定時運航率、移動の快適性等の指標で高い評価を得たためである。

図1-1 トップ10都市における分野別順位グラフ



## 1-1 全体の傾向

GPCI-2014の総合ランキングにおけるトップ4都市は昨年と同様、ロンドン(1位)、ニューヨーク(2位)、パリ(3位)、東京(4位)となった。

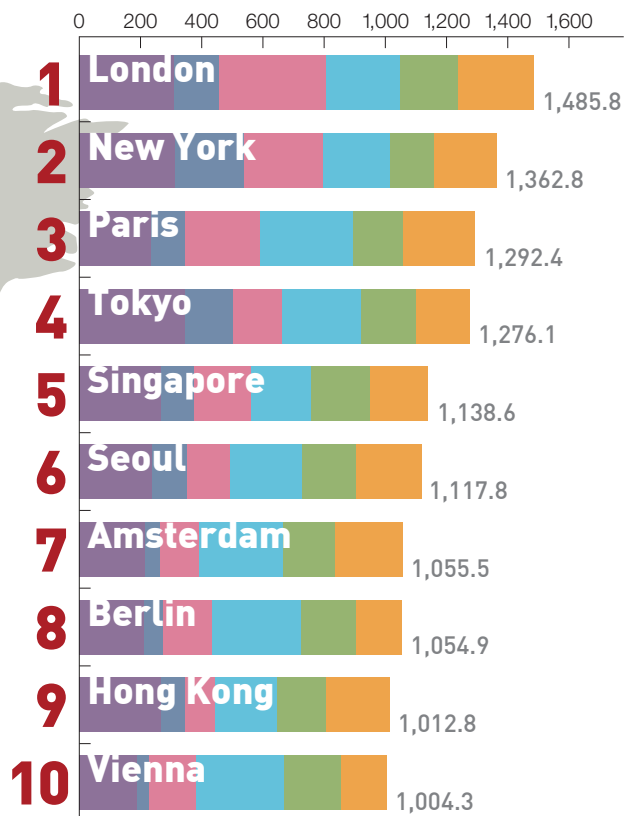
ロンドンは経済分野と居住分野におけるスコアをさらに改善し、他の分野でも高水準を維持した。一方、ニューヨークは各分野で若干スコアを変化させたが、総合スコアについては昨年からほぼ変わらず、ロンドンとの差が広がった。

東京は、これまで弱みとなっていた文化・交流分野において順位を改善した。2013年は東京における外国人旅行者数が680万人を超えたことに加え、海外からの訪問者数、国際コンベンション開催件数、ユネスコ世界遺産、ハイクラスホテル客室数などの指標も東京のスコアを押し上げたといえる。東京は、「市場の魅力」や「交通利便性」などの弱みを抱えているが、今後は五輪開催を契機とした都市力向上の動きが期待されており、将来的に総合ランキング3位のパリを追い抜く可能性がある。

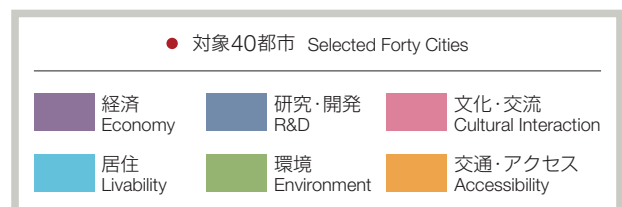
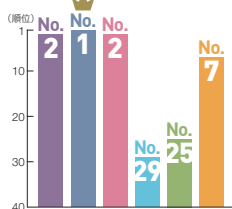
総合ランキング5位以下で見られた動向としては、シンガポール(5位)とソウル(6位)が昨年に続きスコアを上げ、東京(4位)との差を縮めた。また、香港(9位)も昨年より順位を上げており、これらの都市の躍進が改めて明らかになった。

中国の北京(14位)および上海(15位)は、昨年までは主に経済分野での指標の改善によって総合ランキングを上昇させていたが、GPCI-2014ではいずれも総合スコアが低下し、北京は昨年と同順位を維持し、上海は昨年(12位)より順位を下げた。

図1-2 分野別総合ランキング トップ10都市



## 2 New York



## 1-2 分野別ランキング



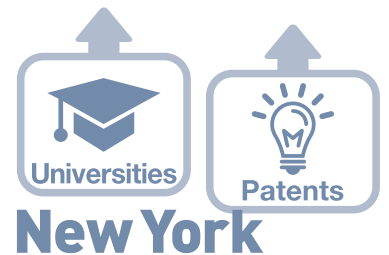
### 経済

上位7都市については、昨年からの順位変動はなく、昨年に引き続き東京が1位を維持した。東京では復興特別法人税の廃止による法人税率の低減などがスコアの増加につながった。また、マドリードとバルセロナは、GDP成長率や政治、経済、商機のリスクなどの指標でスコアを落とし、それぞれ32位から35位、34位から38位と順位を落とした。



### 研究・開発

全体的に順位に大きな変動はなく、上位9都市の全てが昨年と同じ順位を維持した。ニューヨーク(1位)は、世界トップ200大学や産業財産権(特許)の登録数などの指標を伸ばし、東京(2位)との差を更に広げた。



### 文化・交流

ロンドン(1位)はニューヨーク(2位)に大差をつけた。東京は「集客施設」以外の全ての指標グループでスコアを伸ばし、昨年の8位から6位へ順位を上げた。具体的には、海外からの訪問者数、国際コンベンション開催件数、ユネスコ世界遺産、ハイクラスホテル客室数などのスコアが高まった。



### 居住

バンクーバー(2位)、ベルリン(3位)、ジュネーブ(6位)などが大きく順位を上げた。東京は「就業環境」、「生活利便性」の指標グループでスコアを伸ばし、20位から17位へ順位を上げた。この分野の変動は、GPCI-2014で行った完全失業率の指標に関するより詳細なデータの収集による影響を受けた。



### 環境

東京の順位は昨年の1位から9位へ下降した。上位4位まではいずれもヨーロッパ都市(ジュネーブ、ストックホルム、チューリッヒ、フランクフルト)が占めた。GPCI-2014ではリサイクル率、および水質について定義の変更を行い、またSPM濃度、SO<sub>2</sub>濃度・NO<sub>2</sub>濃度についてデータを詳細化したため、順位変動がやや大きくなっている。



### 交通・アクセス

全体的に順位変動が少なく、トップ10を構成する都市は昨年と同様である。上位4都市はヨーロッパ都市(ロンドン、パリ、アムステルダム、フランクフルト)が占めており、これをソウル、香港、シンガポールなどアジア主要都市が追った。





### 1-3 アクター別ランキング



#### 経営者

ロンドン(1位)とシンガポール(2位)は上位を維持し、香港(5位→3位)とイスタンブール(21位→7位)は順位を上昇させた。香港とイスタンブールは「ビジネスの成長性」の要素でスコアを伸ばした。



#### 研究者

昨年から大きな順位の変動はないが、ニューヨーク(1位)が昨年よりスコアを伸ばし、東京(2位)との差を広げた。



#### アーティスト

ロンドンがスコアを伸ばし、4位から2位へ順位を上げた。ベルリンは、昨年と同様「アーティストの集積」や「マーケットの存在」の要素で強みを見せ、パリ、ロンドン、ニューヨークに次いで4位となった。



#### 観光客

ロンドンがニューヨーク(2位)に差をつけて1位となったことは昨年と同様である。東京は「食事(選択肢や値段等)」などの要素でスコアを伸ばし、昨年の9位から6位へ上昇した。



#### 生活者

昨年と同様、1位のパリがロンドン(2位)に大きな差をつけた。ヨーロッパ都市が昨年同様、高い順位を維持する中、ワシントンD.C.が「安全」の要素でスコアを伸ばし、昨年の14位から9位へと順位を上げた。



### 1-4 都市の感性価値とGPCI+

GPCIで選定している指標の多くは、都市の物質的魅力を評価している。しかし、都市の魅力は必ずしもこのような物質的な価値のみによって、生み出されるものではない。都市における生活において、私たちが快適さ、安らぎ、興奮等を感じるのは、都市空間が「人間の感性に訴える力」を備えているからだと考えることができる。

そこで、この力を「都市の感性価値」(Urban Intangible Values, UIV)と定義し、新たな視点で都市のあり方を評価することを試みた。

感性価値を構成する要素として「効率」、「正確・迅速」、「安全・安心」、「多様」、「ホスピタリティ」、「新陳代謝」の6つを設定し、これに対応する指標を収集し評価を行っている。

ここでは、約40ある感性価値の評価指標から11の指標を選定し、GPCIの指標グループに新しい指標として加えることで、改めて40都市を評価し、ランキング(GPCI+)を作成した。

その結果、総合ランキングにおいて東京はパリを追い抜いて3位になった。東京が安全・安心の面で優れた都市であること、ホスピタリティや公共交通の正確性において優れた評価を得ていることが示された。

なお、都市戦略研究所では、「感性価値」に関わる指標を収集、分析しながら、「感性価値」に基づく世界の都市のランキングを作成している。これは2014年12月に発表し、『世界の都市総合力ランキング YEARBOOK 2014』に掲載を予定している。

## 2. GPCI-2014の作成方法

### 2-1 策定体制

本ランキングは、最高顧問の故・ピーター・ホール卿ロンドン大学教授のもとで立案され、森記念財団都市戦略研究所の所長である竹中平蔵(慶應義塾大学教授・グローバルセキュリティ研究所所長)を委員長とするコミッティが、ランキング作成過程の節目において監修を行っている。

分析は、市川宏雄 森記念財団理事/明治大学専門職大学院院長・教授を主査とするワーキンググループによる検討

作業を重ね、各界の有識者からグローバル・アクターの視点にもとづく助言を得ながらランキング作成を進めた。

なお、こうしたランキングの作成過程および結果の妥当性については、2名の第三者評価員(ピア・レビューアー)に評価を依頼し、内容の確認および改善点の指摘を受けている。

GPCI-2014はこうした体制のもと、最終的に取りまとめられたものである。

図2-1 策定体制





## 2-2 対象都市

図2-2 対象40都市



エリア	都市
ヨーロッパ	マドリッド、バルセロナ、ロンドン、パリ、ブリュッセル、アムステルダム、ジュネーブ、フランクフルト、ベルリン、チューリッヒ、ミラノ、コペンハーゲン、ウィーン、ストックホルム、イスタンブール、モスクワ
アフリカ	カイロ
アジア	ムンバイ、バンコク、クアラルンプール、シンガポール、香港、北京、上海、台北、ソウル、福岡、大阪、東京
オセアニア	シドニー
北米	バンクーバー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シカゴ、トロント、ワシントンD.C.、ニューヨーク、ボストン
中南米	メキシコシティ、サンパウロ

### (都市の選定基準)

- 既存の有力な都市比較ランキング(The Global Financial Centres Index、Global Cities Index、Cities of Opportunity)で上位10位に入っている都市
- 有力な国際競争力ランキング(World Economic Forumおよび International Institute for Management Development作成)において競争力上位10位に入っている国の主要都市
- 本ランキングを作成するコミッティまたはワーキング・グループから、対象都市として取り上げることが適切として判断された都市

## 2-3 ランキングの作成方法

図2-3 分野別ランキングの作成フロー

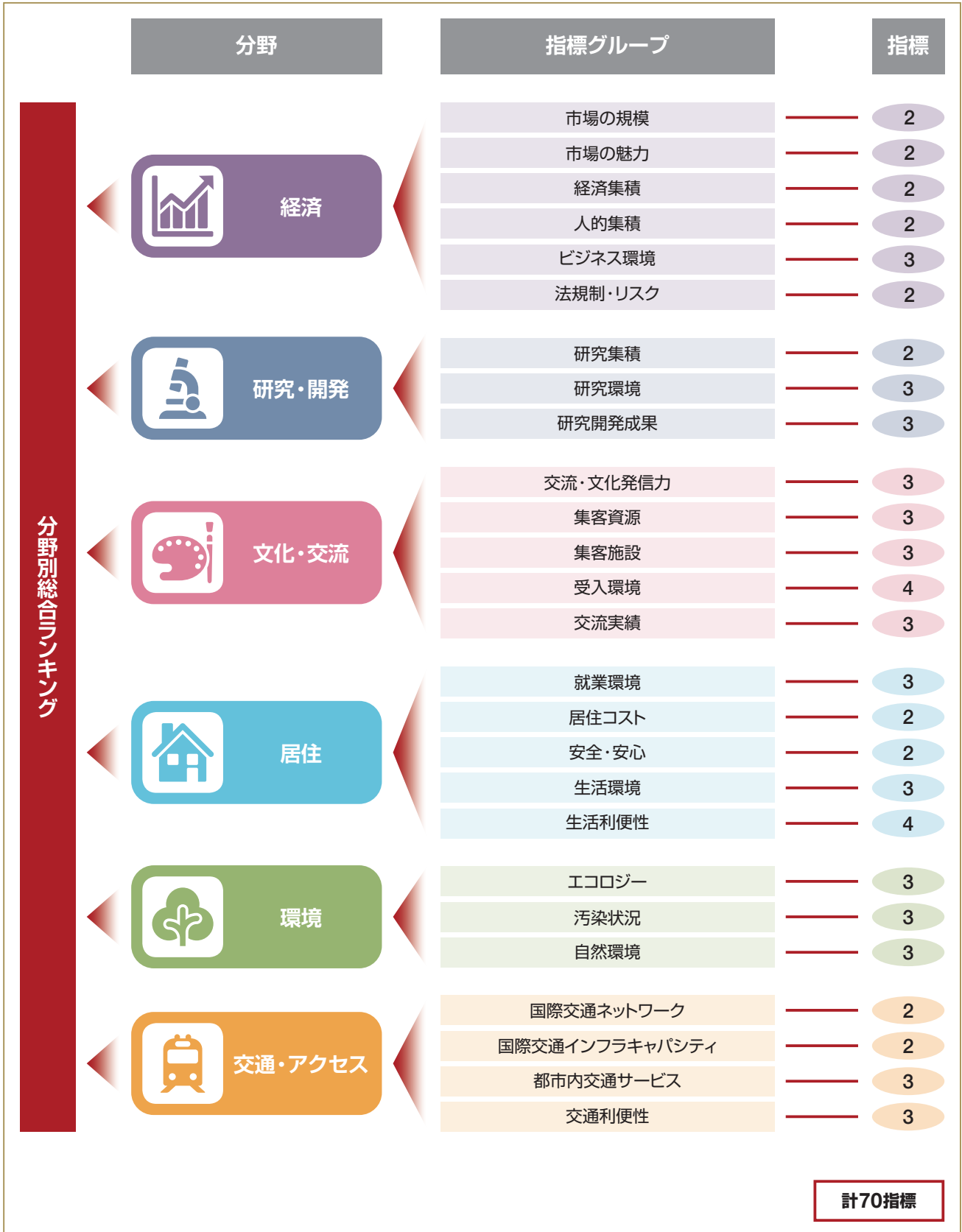


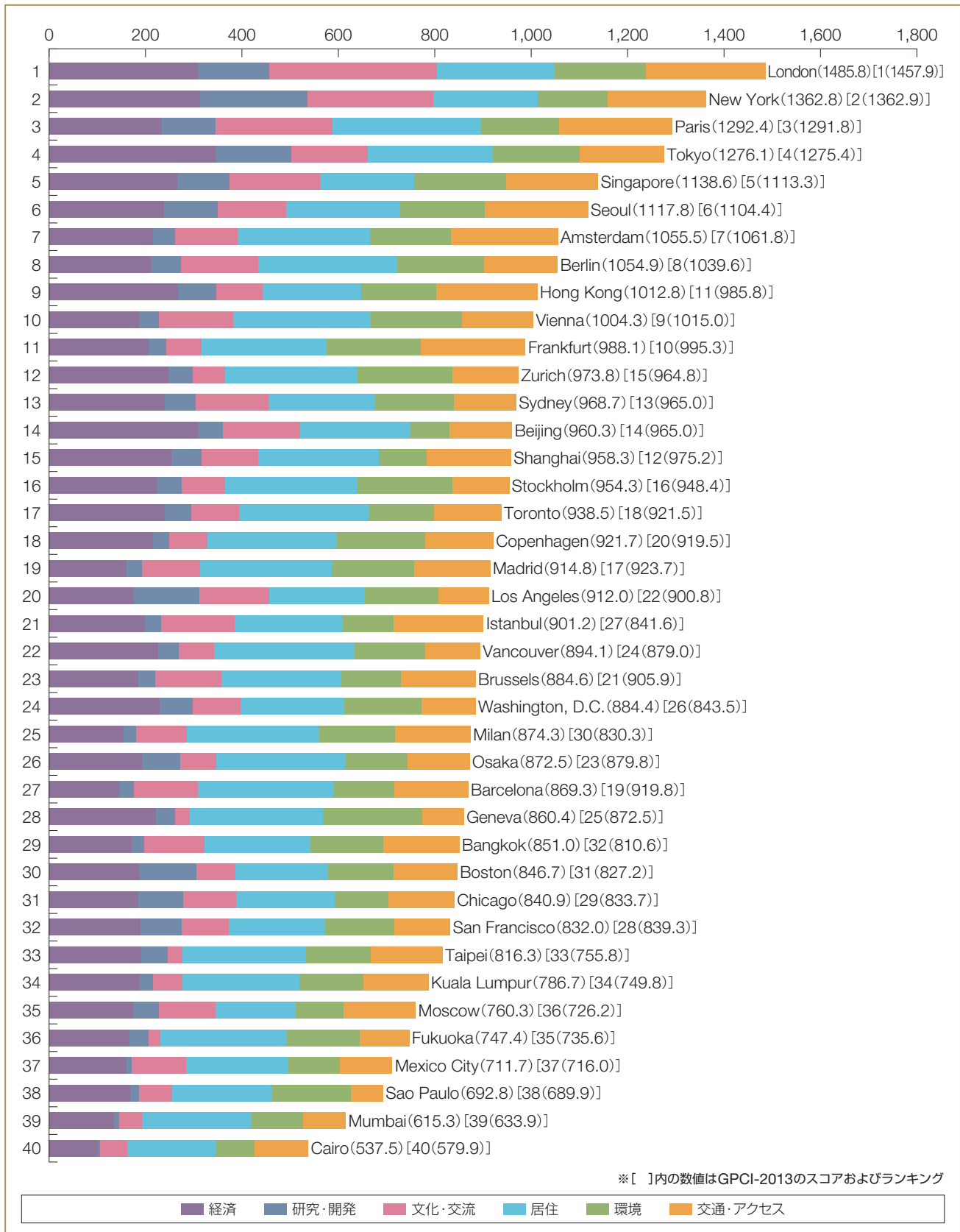
図2-4 アクター別ランキングの作成フロー

		アクター				
		経営者	研究者	アーティスト	観光客	生活者
						
		重視する要素				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①企業や商取引等の一定以上の集積</li> <li>②ビジネスの成長性</li> <li>③ビジネスの容易性</li> <li>④ビジネス環境</li> <li>⑤人材プール(人材の豊富さ)</li> <li>⑥関連サポート産業の集積</li> <li>⑦家族及び従業員にとっての良好な環境</li> <li>⑧政治・経済・災害リスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①質の高い研究機関・研究者・指導者の存在</li> <li>②研究機関や研究者の集積</li> <li>③研究活動における発想や思考に対して刺激となる空間・機会の存在</li> <li>④研究者受入態勢(研究費助成や生活費補助など)</li> <li>⑤自らの研究分野における就業機会</li> <li>⑥日常生活の環境(住みやすさ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化的刺激</li> <li>②アーティストの集積</li> <li>③マーケットの存在</li> <li>④創作環境(スタジオ、アトリエ賃料、広さなど)</li> <li>⑤日常生活の環境(住みやすさ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化的魅力や接触機会</li> <li>②安全</li> <li>③観光の対象の存在(施設、文化等)</li> <li>④一定水準以上の宿泊施設</li> <li>⑤食事(選択肢や値段等)</li> <li>⑥買物(環境や値段、魅力等)</li> <li>⑦目的地までの移動の利便性(所要時間、運賃等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①購買環境(物価、商品の得やすさ等)</li> <li>②生活環境(住環境などの日常生活のしやすさ等)</li> <li>③就業環境(収入、雇用機会等)</li> <li>④教育環境</li> <li>⑤余暇活動</li> <li>⑥安全</li> <li>⑦医療水準</li> </ul>
分野	経済	13	2	2	—	5
	研究・開発	2	7	—	—	2
	文化・交流	7	7	7	12	7
	居住	12	9	8	6	12
	環境	6	5	5	—	8
	交通・アクセス	9	4	2	8	5
		49 指標	34 指標	24 指標	26 指標	39 指標
		経営者スコア	研究者スコア	アーティストスコア	観光客スコア	生活者スコア
アクター別ランキング						

# 3. GPCI-2014の結果

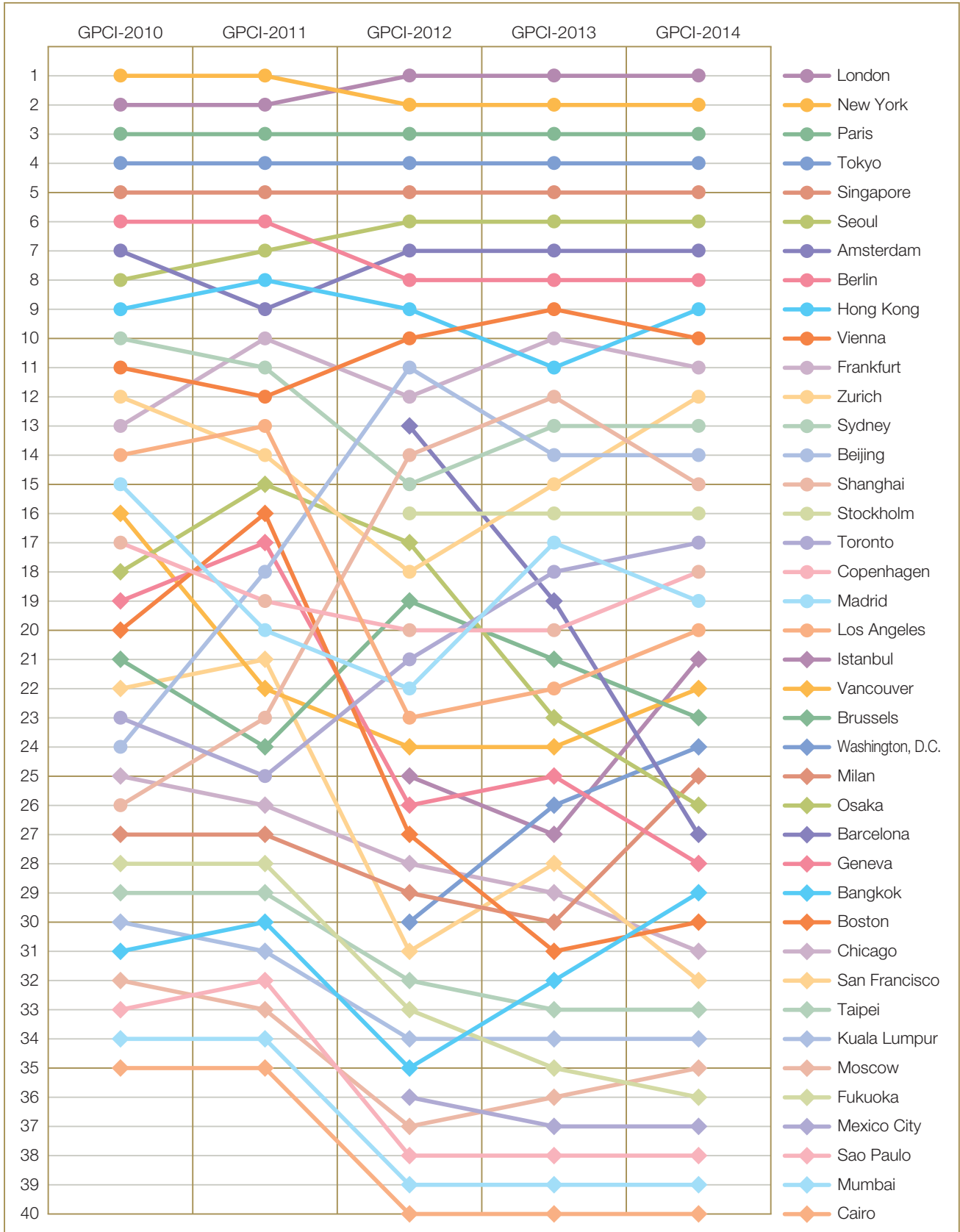
## 3-1 分野別総合ランキング

図3-1 分野別総合ランキング結果



### 3-2 分野別総合ランキングの変動

図3-2 分野別総合ランキングの変動(GPCI-2010~2014)



### 3-3

## 分野別ランキング

表3-1 分野別ランキング

ランク	総合スコア	経済	研究・開発	文化・交流	居住	環境	交通・アクセス							
1	London	1485.8	Tokyo	345.9	New York	223.2	London	347.2	Paris	307.1	Geneva	205.8	London	248.5
2	New York	1362.8	New York	312.8	Tokyo	155.7	New York	260.9	Vancouver	290.7	Stockholm	198.9	Paris	234.6
3	Paris	1292.4	Beijing	309.5	London	149.4	Paris	243.3	Berlin	288.5	Zurich	196.9	Amsterdam	222.9
4	Tokyo	1276.1	London	307.7	Los Angeles	134.8	Singapore	188.1	Vienna	285.7	Frankfurt	194.5	Frankfurt	217.9
5	Singapore	1138.6	Hong Kong	267.7	Boston	118.4	Berlin	160.6	Barcelona	280.8	Singapore	190.5	Seoul	213.8
6	Seoul	1117.8	Singapore	265.9	Seoul	111.6	Tokyo	159.8	Geneva	276.0	Vienna	189.5	Hong Kong	209.2
7	Amsterdam	1055.5	Shanghai	252.7	Paris	111.5	Beijing	158.7	Zurich	275.4	London	189.0	New York	204.8
8	Berlin	1054.9	Zurich	246.7	Singapore	107.1	Vienna	154.6	Amsterdam	274.2	Copenhagen	183.3	Singapore	191.4
9	Hong Kong	1012.8	Sydney	239.5	Chicago	93.4	Istanbul	152.4	Milan	273.1	Tokyo	180.9	Istanbul	187.3
10	Vienna	1004.3	Toronto	239.2	San Francisco	84.9	Sydney	150.2	Stockholm	273.1	Berlin	179.9	Tokyo	175.8
11	Frankfurt	988.1	Seoul	237.4	Osaka	79.8	Los Angeles	145.7	Madrid	272.4	Seoul	175.3	Shanghai	175.5
12	Zurich	973.8	Paris	233.4	Hong Kong	78.1	Seoul	142.2	Osaka	267.9	Madrid	171.6	Bangkok	157.8
13	Sydney	968.7	Washington, D.C.	229.1	Washington, D.C.	68.3	Brussels	137.4	Copenhagen	267.8	Amsterdam	167.2	Milan	157.7
14	Beijing	960.3	Vancouver	226.4	Sydney	64.7	Barcelona	133.9	Toronto	267.5	Sydney	164.8	Madrid	157.5
15	Shanghai	958.3	Stockholm	222.3	Shanghai	63.1	Amsterdam	130.4	Fukuoka	263.7	Sao Paulo	164.4	Brussels	154.8
16	Stockholm	954.3	Geneva	221.5	Berlin	62.5	Bangkok	124.4	Frankfurt	260.0	Paris	162.5	Barcelona	154.2
17	Toronto	938.5	Copenhagen	215.4	Toronto	56.4	Madrid	121.6	Tokyo	257.9	Washington, D.C.	161.0	Berlin	153.1
18	Copenhagen	921.7	Amsterdam	214.9	Taipei	54.5	Moscow	117.5	Taipei	255.8	Milan	157.5	Moscow	150.1
19	Madrid	914.8	Berlin	210.3	Moscow	53.5	Shanghai	117.3	Shanghai	250.1	Hong Kong	157.1	Taipei	149.5
20	Los Angeles	912.0	Frankfurt	206.8	Stockholm	52.3	Mexico City	112.4	Brussels	247.9	Los Angeles	152.2	Vienna	148.0
21	Istanbul	901.2	Istanbul	198.1	Beijing	51.4	Chicago	109.4	London	244.0	Bangkok	151.7	Copenhagen	142.2
22	Vancouver	894.1	Osaka	192.4	Zurich	50.9	Milan	105.9	Kuala Lumpur	243.5	Fukuoka	150.2	Toronto	139.9
23	Brussels	884.6	Taipei	191.2	Amsterdam	46.0	Washington, D.C.	100.1	Seoul	237.5	Vancouver	148.0	Zurich	137.6
24	Washington, D.C.	884.4	San Francisco	189.9	Vancouver	41.9	Toronto	98.3	Beijing	228.5	San Francisco	145.5	Chicago	136.7
25	Milan	874.3	Kuala Lumpur	188.0	Vienna	40.0	San Francisco	97.6	Mumbai	227.1	New York	145.1	Kuala Lumpur	134.7
26	Osaka	872.5	Boston	187.4	Fukuoka	39.7	Hong Kong	96.6	Istanbul	222.3	Toronto	137.3	Boston	131.9
27	Barcelona	869.3	Vienna	186.5	Geneva	39.0	Stockholm	90.0	Sydney	219.8	Boston	137.0	Beijing	130.5
28	Geneva	860.4	Brussels	185.0	Frankfurt	35.1	Boston	79.5	Bangkok	219.2	Taipei	134.4	Sydney	129.7
29	Bangkok	851.0	Chicago	184.5	Brussels	34.9	Copenhagen	79.4	New York	216.0	Kuala Lumpur	132.9	Osaka	129.0
30	Boston	846.7	Los Angeles	175.7	Istanbul	34.1	Osaka	74.1	Washington, D.C.	214.0	Osaka	129.2	Stockholm	117.7
31	Chicago	840.9	Moscow	173.5	Copenhagen	33.5	Frankfurt	73.9	Mexico City	212.5	Barcelona	125.7	San Francisco	116.0
32	San Francisco	832.0	Bangkok	170.5	Madrid	30.9	Vancouver	73.7	Sao Paulo	206.3	Brussels	124.7	Vancouver	113.4
33	Taipei	816.3	Sao Paulo	168.1	Barcelona	29.2	Sao Paulo	68.9	Chicago	204.4	Chicago	112.4	Washington, D.C.	111.9
34	Kuala Lumpur	786.7	Fukuoka	166.2	Bangkok	27.4	Zurich	66.4	Hong Kong	204.2	Mumbai	107.3	Cairo	110.9
35	Moscow	760.3	Madrid	160.8	Kuala Lumpur	26.2	Kuala Lumpur	61.4	Los Angeles	198.8	Istanbul	106.9	Mexico City	109.2
36	Fukuoka	747.4	Mexico City	160.0	Milan	25.7	Cairo	57.1	San Francisco	198.1	Mexico City	106.7	Los Angeles	104.7
37	Mexico City	711.7	Milan	154.4	Sao Paulo	17.4	Mumbai	47.6	Singapore	195.6	Shanghai	99.5	Fukuoka	103.5
38	Sao Paulo	692.8	Barcelona	145.5	Mexico City	11.0	Geneva	31.9	Boston	192.5	Moscow	98.3	Mumbai	88.9
39	Mumbai	615.3	Mumbai	133.6	Mumbai	10.8	Taipei	30.9	Cairo	183.4	Cairo	81.7	Geneva	86.2
40	Cairo	537.5	Cairo	101.1	Cairo	3.2	Fukuoka	24.1	Moscow	167.4	Beijing	81.7	Sao Paulo	67.6



## 3-4 アクター別ランキング

表3-2 アクター別ランキング

ランク	経営者	研究者	アーティスト	観光客	生活者
1	London	New York	Paris	London	Paris
2	Singapore	Tokyo	London	New York	London
3	Hong Kong	London	New York	Paris	New York
4	Beijing	Paris	Berlin	Istanbul	Zurich
5	Shanghai	Los Angeles	Vienna	Shanghai	Tokyo
6	New York	Boston	Amsterdam	Tokyo	Berlin
7	Istanbul	Seoul	Los Angeles	Beijing	Frankfurt
8	Paris	San Francisco	Tokyo	Barcelona	Vienna
9	Tokyo	Singapore	Barcelona	Singapore	Washington, D.C.
10	Toronto	Washington, D.C.	Beijing	Berlin	Stockholm
11	Seoul	Chicago	Madrid	Bangkok	Amsterdam
12	Vancouver	Sydney	Washington, D.C.	Vienna	Milan
13	Kuala Lumpur	Osaka	Milan	Amsterdam	Vancouver
14	Amsterdam	Beijing	Mexico City	Madrid	Geneva
15	Stockholm	Berlin	Chicago	Seoul	Copenhagen
16	Berlin	Hong Kong	Vancouver	Hong Kong	Madrid
17	Zurich	Vancouver	Shanghai	Toronto	Boston
18	Taipei	Zurich	Toronto	Brussels	Seoul
19	Vienna	Stockholm	Frankfurt	Milan	Osaka
20	Sydney	Vienna	Copenhagen	Frankfurt	Hong Kong
21	Copenhagen	Moscow	Stockholm	Sydney	Toronto
22	Geneva	Toronto	Brussels	Vancouver	San Francisco
23	Frankfurt	Amsterdam	Istanbul	Osaka	Sydney
24	Boston	Geneva	Bangkok	Washington, D.C.	Barcelona
25	Bangkok	Copenhagen	Osaka	Mexico City	Beijing
26	Brussels	Frankfurt	Sydney	Zurich	Brussels
27	Washington, D.C.	Milan	Sao Paulo	Chicago	Shanghai
28	Osaka	Fukuoka	Cairo	Boston	Fukuoka
29	Madrid	Shanghai	Fukuoka	Taipei	Singapore
30	Barcelona	Taipei	San Francisco	San Francisco	Taipei
31	Milan	Madrid	Mumbai	Copenhagen	Los Angeles
32	Chicago	Istanbul	Moscow	Stockholm	Chicago
33	Fukuoka	Brussels	Kuala Lumpur	Cairo	Moscow
34	San Francisco	Mexico City	Zurich	Kuala Lumpur	Mexico City
35	Los Angeles	Bangkok	Seoul	Los Angeles	Bangkok
36	Mumbai	Barcelona	Boston	Moscow	Istanbul
37	Sao Paulo	Kuala Lumpur	Taipei	Fukuoka	Sao Paulo
38	Moscow	Sao Paulo	Geneva	Mumbai	Kuala Lumpur
39	Mexico City	Mumbai	Singapore	Geneva	Mumbai
40	Cairo	Cairo	Hong Kong	Sao Paulo	Cairo

### 3-5 東京の強み・弱みの分析

東京を各指標グループの偏差値から分析すると、その「強み」と「弱み」が明らかになる。東京の強みとしては、経済分野の「市場の規模」、「経済集積」、「人的集積」、研究・開発分野全般、居住分野の「生活利便性」、交通・アクセス分野の「都市内交通サービス」が挙げられる。

一方、弱みは経済分野の「市場の魅力」、「法規制・リスク」、文化・交流分野の「集客資源」、「法規制・リスク」、文化・交流分野の「集客資源」、居住分野の「居住コスト」、環境分野の「自然環境」、交通・アクセス分野の「国際交通ネットワーク」、「交通利便性」となっている。

GPCI-2014では東京は文化・交流分野でスコアを伸ばしたものの、いずれの指標グループにおいても偏差値が60未満にとどまる。今後この分野を改善することが東京の都市力の向上に繋がると考えられる。

偏差値別に指標数を見ると、東京は偏差値70以上の強みを有する指標は10個あり、これはパリの11個と同水準である。一方、ロンドン、ニューヨークはいずれも偏差値70以上の指標が16個となっている。

図3-3 東京の指標グループ別の偏差値

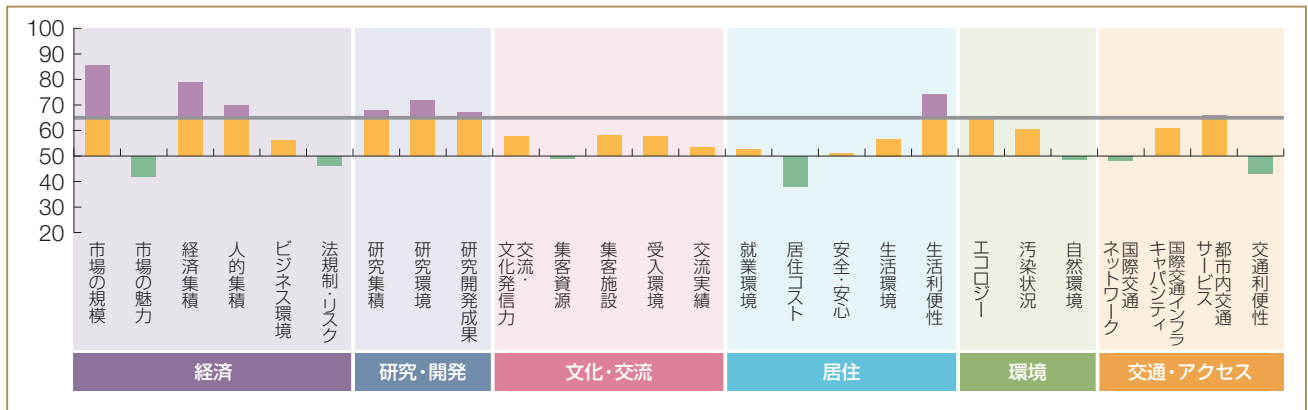
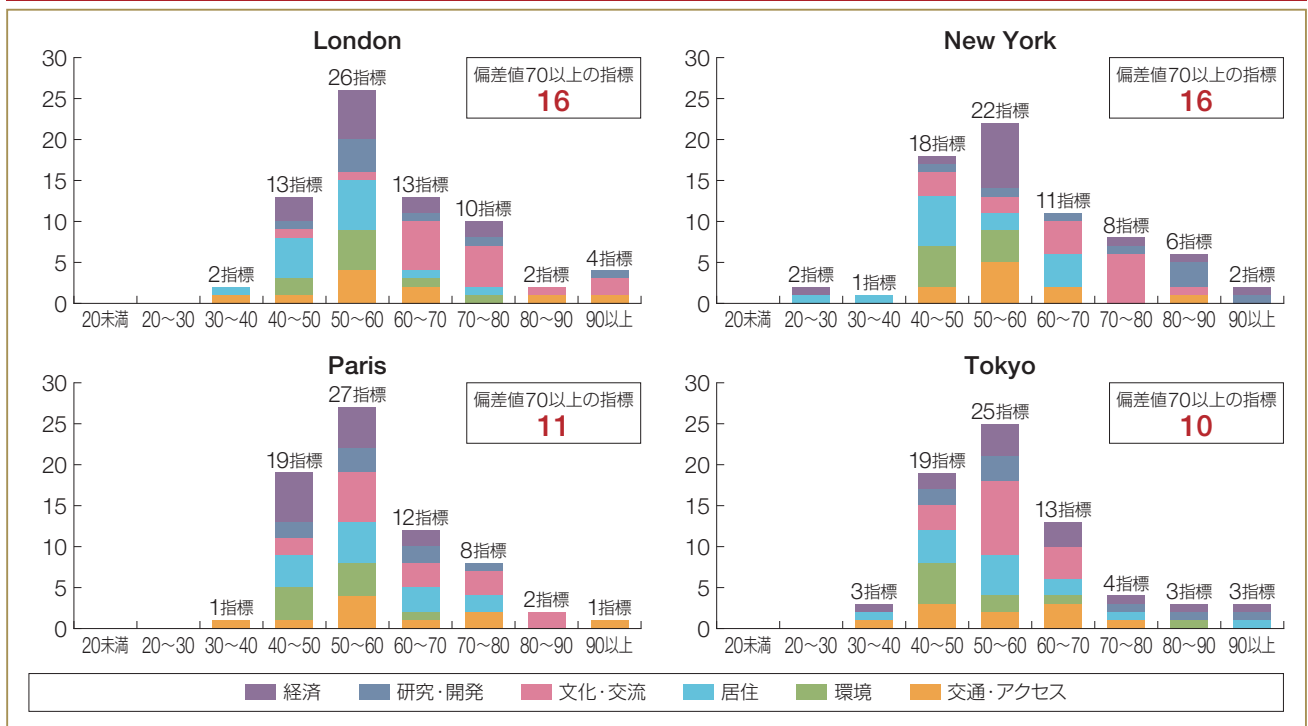


図3-4 トップ4都市の偏差値別の指標数



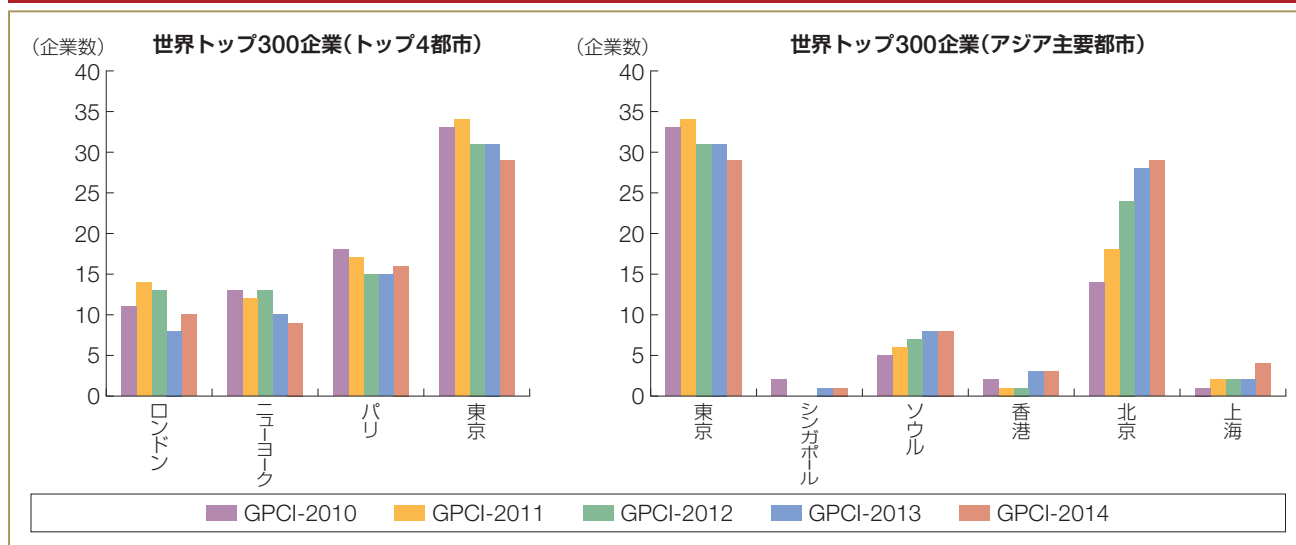
## 3-6 GPCIの主な指標の推移

### 1) 世界トップ300企業

過去5年間に於いて、総合ランキング上位のニューヨークと東京では、世界トップ300企業数に関して減少傾向が

見られる。一方、北京、ソウル、上海、香港といったアジア主要都市はいずれも増加傾向を示しており、これまで1位だった東京と北京は、ほぼ同水準となった。

図3-5 世界トップ300企業の推移



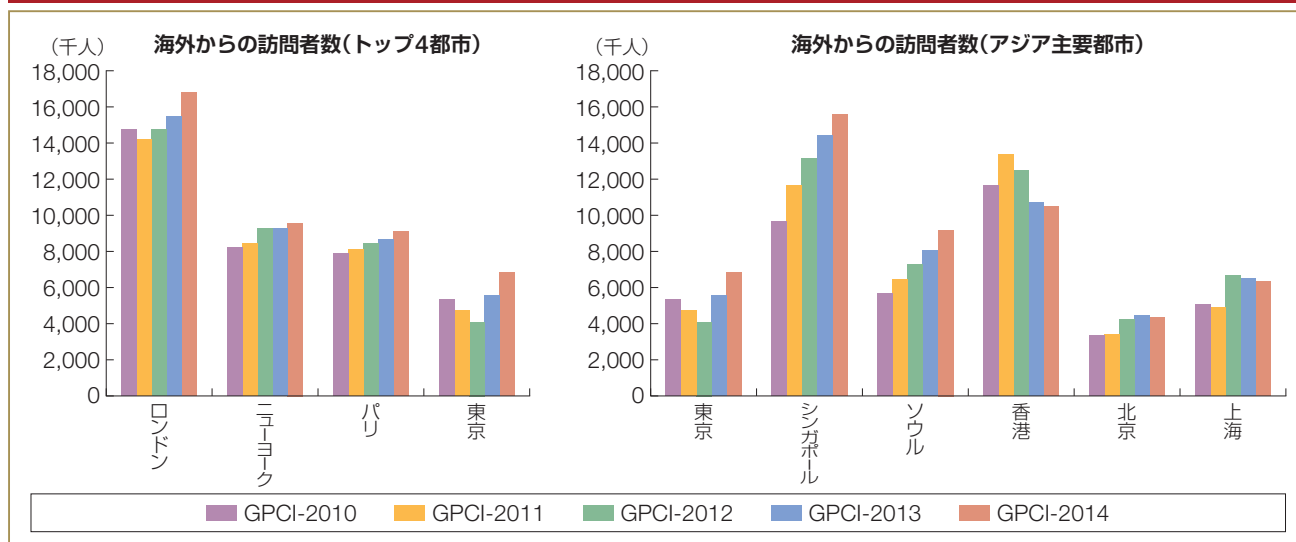
注：GPCIの世界トップ300企業指標では、FORTUNE「Global 500」において300位以内にランクされている企業に対して、その順位と件数に応じてスコア化している。

### 2) 海外からの訪問者数

総合ランキングのトップ4都市はいずれも海外からの訪問者数が伸びており、特に東京は大きな伸びを示した。昨年、日本への外国人訪問者数は1,000万人を突破し、うち約681万人が東京を訪れた。これは東日本大震災の

東京への影響に対する懸念が弱まったことに加え、円安や東南アジア諸国に対するビザ緩和などが寄与したと考えられる。東京への訪問者数は、ロンドン、ニューヨーク、パリには未だ及ばないものの、アジア主要都市の中では北京や上海を上回る水準となっている。

図3-6 海外からの訪問者数の推移



注：GPCI-2013発表時点においては2012年の外国人旅行者数データが入手できなかったため、ランキングには2011年のデータが使用された。ただし、本グラフではGPCI-2013に2012年のデータを挿入した。

# 4. 都市の感性価値とGPCI+

## 4-1 感性価値とは何か

GPCIでは、70の指標を選定し、「都市の総合力」を評価している。これらの指標の多くは、都市の魅力を経済的な基準で評価している(一部、アンケートに基づく定性的指標を除く)。たとえば、法人税率、研究開発費、CO<sub>2</sub>排出量などがこれにあたる。しかし、都市の魅力は必ずしもこのような物質的な価値のみによって、生み出されるものではない。

それでは、都市に生きる人々が、都市に求める「非物質的な価値」をてがかりに、都市空間を評価しなおすと、どのような結果が得られるだろうか。

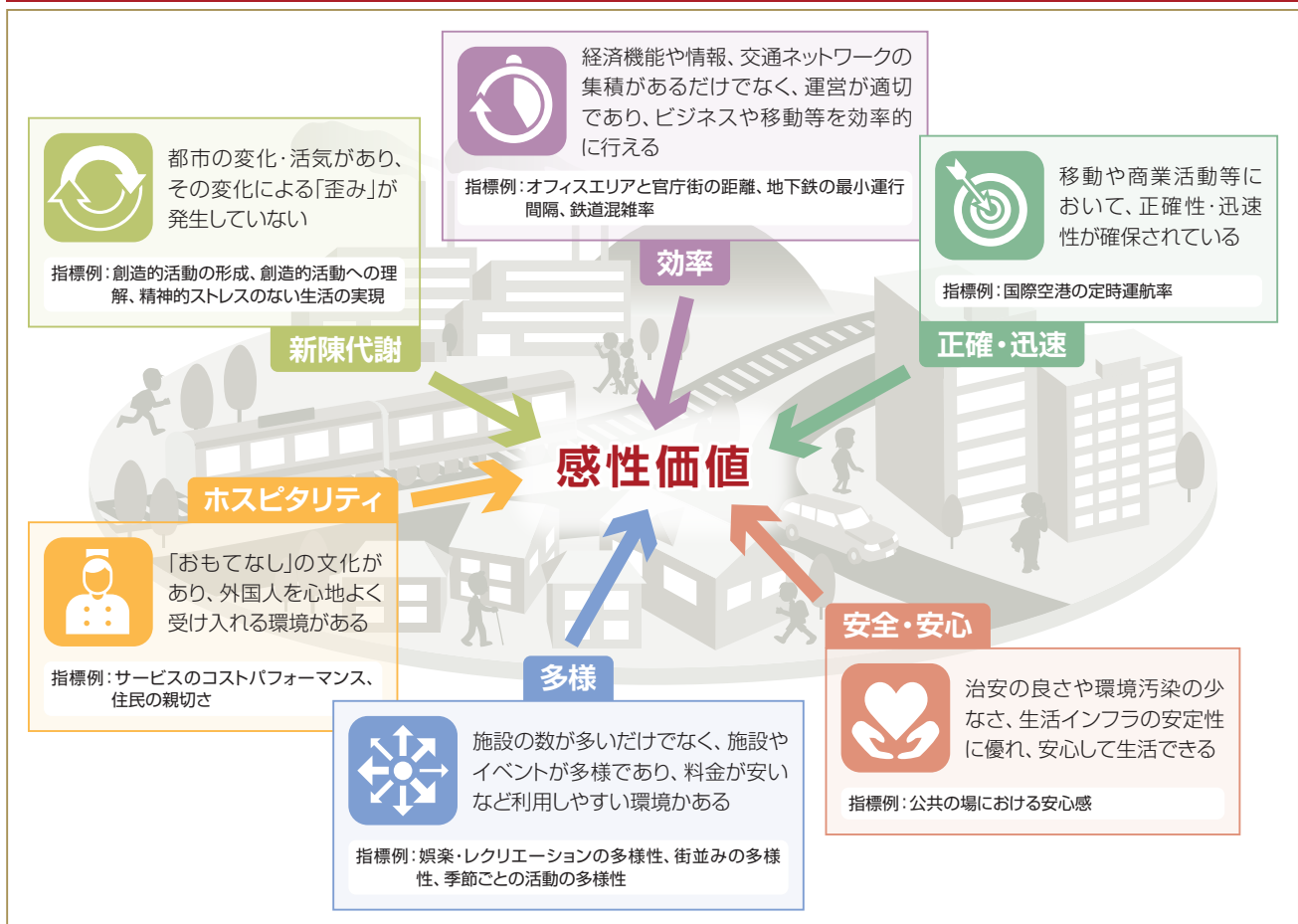
都市における生活において、私たちは、快適さ、安らぎ、

興奮等を感じている。このことを言い換えると、都市空間には「人間の感性に訴える力」が備わっていると考えることができるだろう。

そこで、この力を「都市の感性価値」(Urban Intangible Values, UIV)と定義し、新たな視点で都市のあり方をとらえることを試みた。

ここでは、感性価値を構成する、6つの要素(効率、正確・迅速、安全・安心、多様、ホスピタリティ、新陳代謝)を設定し、これに対応する指標(アンケートおよび統計等)を収集し、評価を行っている。

図4-1 感性価値の評価で用いられる要素と指標例



これらの指標は、都市の「空間と活動の特性」と「価値観」という二つの観点に配慮しながら選ばれたものである。まず、「空間と活動の特性」という基準においては、都市における「空間構成」、「活動」、「空間運営」という3つの分類が設定され、都市における空間性や活動性への

関連に基づいて指標が選ばれた。一方、「価値観」という側面においては、「普遍的な価値」、「地域性・文化背景に左右される価値」、「個人の価値観に左右される価値」という3つの分類が設定され、価値に関する普遍性や特殊性を考慮しながら指標が選ばれた。

## 4-2 感性価値を一部加味した世界の都市総合力ランキング(GPCI+)

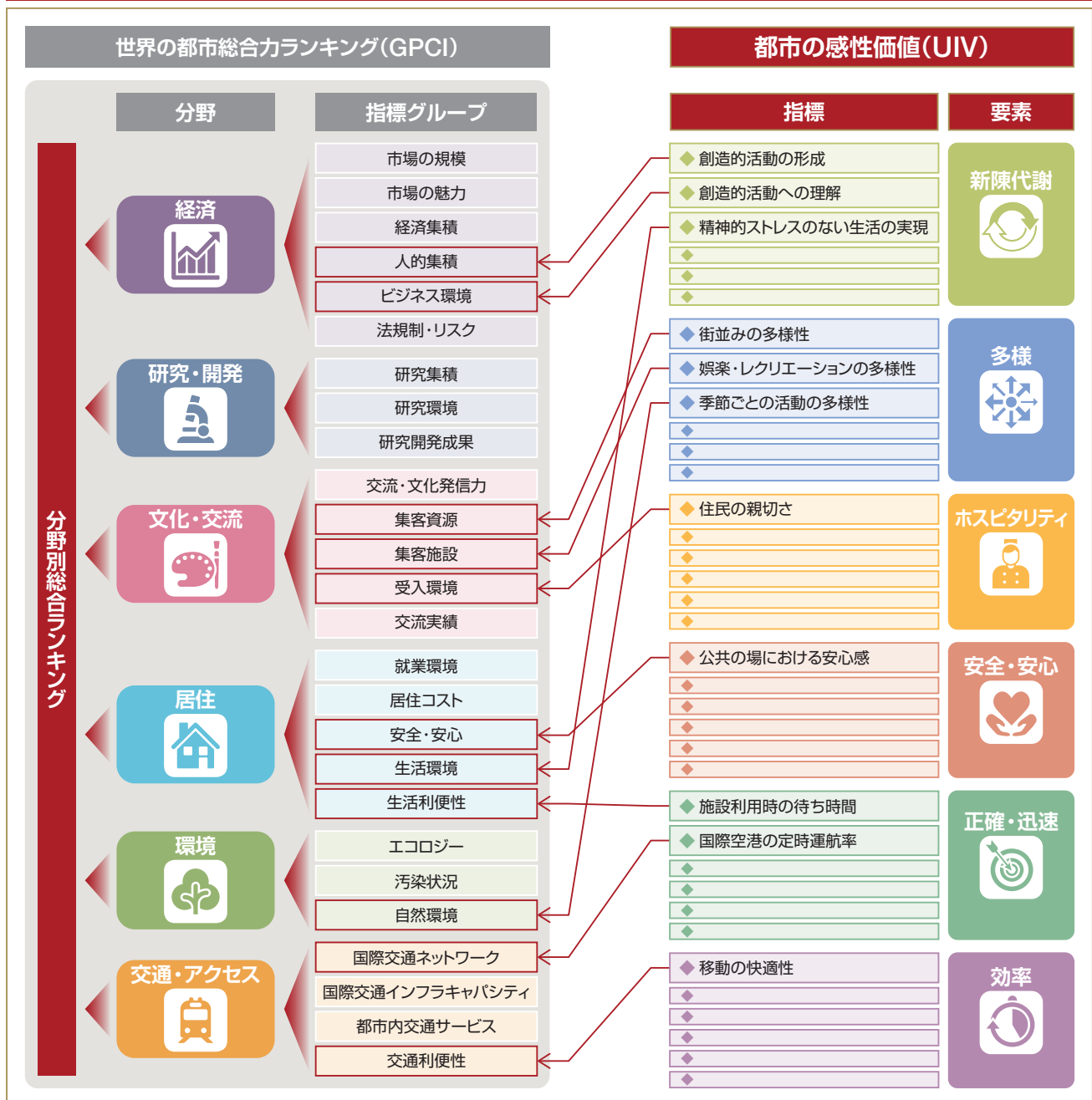
本概要版では、「感性価値」の考え方を試験的に既存のGPCIに組み込むことで、都市の魅力の新たな評価方法を検討することとした。具体的には、「感性価値」に関わる指標のうち、一部を選び出し、GPCI-2014における該当指標グループに挿入することで、新たにGPCIの対象都市を評価し、ランキング(GPCI+)を作成した。

GPCI+では、現在、収集を行っている約40の感性価値

評価指標のうち、11指標(10個のアンケート指標、および国際空港の定時運航率)を、最も関連の深いGPCIの11の指標グループに組み入れ、40都市に関してスコアの作成を行った。ただし、研究・開発分野に関しては、該当する感性価値指標がないため、GPCI-2014と同じ評価である。

※なお、都市戦略研究所では、「感性価値」に基づく世界の都市のランキングを作成している。これは2014年12月に発表し、『世界の都市総合力ランキング YEARBOOK 2014』に掲載を予定している。

図4-2 GPCI+において加えられた指標とその指標グループ



### 4-3 GPCI+によるランキング結果

GPCI-2014をもとに感性価値の調査結果を一部反映したランキングであるGPCI+においては、改めてスコアの計算がなされ、その結果として順位の変化が生じた。

GPCI+の総合ランキングにおいては、東京の総合スコアはパリを上回り、3位となった。これは感性価値指標である公共の場における安心感、住民の親切さ、国際空港の定時運航率、移動の快適性に関して、東京が高い評価を得たことが要因となった。このことは、東京が安全・安心の面で優れた都市であること、「おもてなし」の言葉に表される

ホスピタリティや公共交通の正確性が優れていることを改めて示しているといえるだろう。

また、GPCI+では、アメリカの全6都市の順位が、GPCI-2014と比べて上昇もしくは同順位となっている。分野別には、経済分野や文化・交流分野で順位を上げている。これは、成熟しつつも成長を続けているアメリカ各都市が、創造的活動のし易さ(「新陳代謝」)や、街並みや娯楽・レクリエーションの多様性(「多様」)などにおいて高い評価を受けていることを示している。

図4-3 GPCI+における分野別総合ランキング

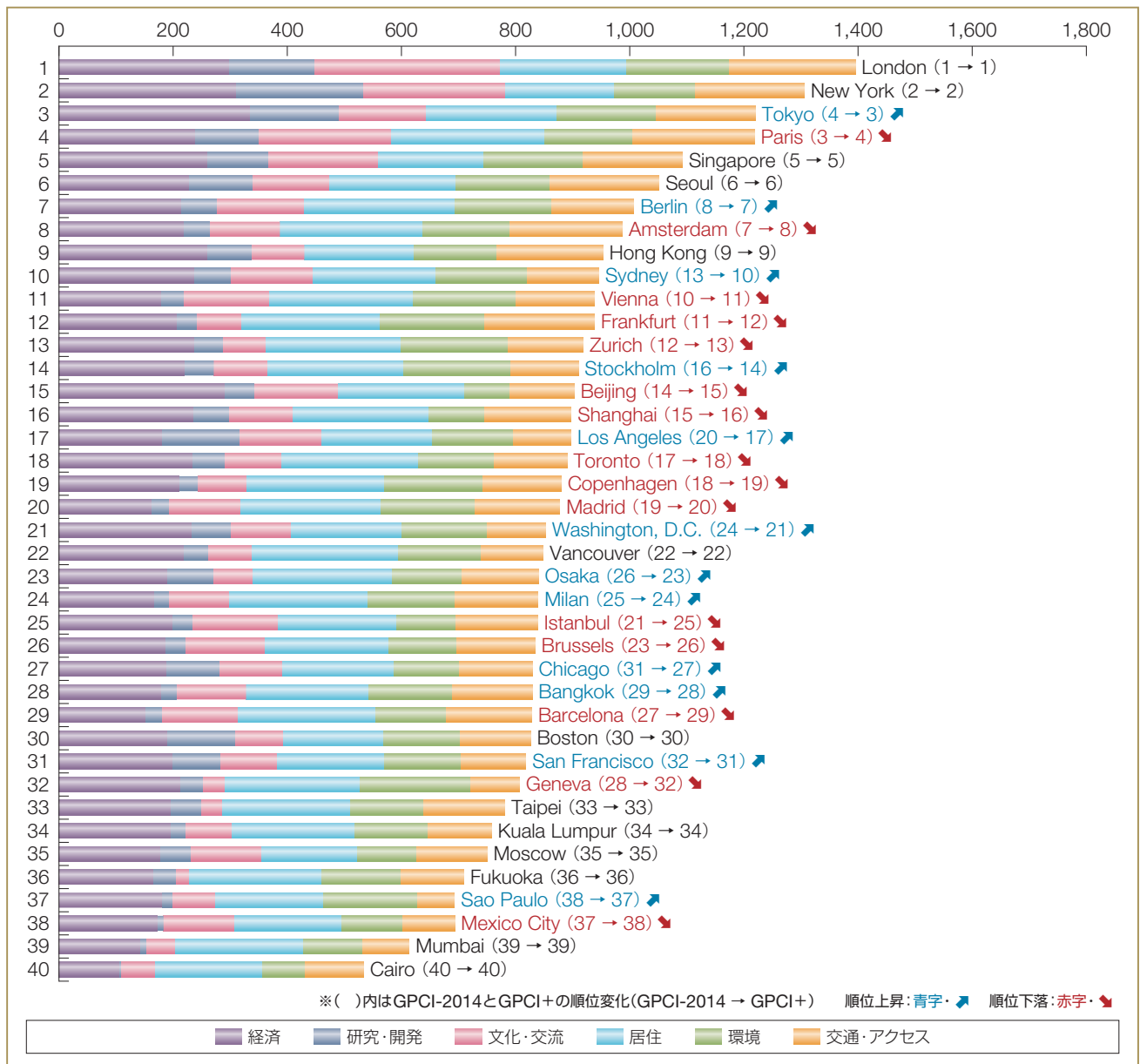




表4-1 GPCI+とGPCI-2014の分野別の順位比較

GPCI+ ランク	総合スコア		経済		研究・開発		文化・交流		居住		環境		交通・アクセス	
	都市	GPCI-2014 ランク	都市	GPCI-2014 ランク	都市	GPCI-2014 ランク	都市	GPCI-2014 ランク	都市	GPCI-2014 ランク	都市	GPCI-2014 ランク	都市	GPCI-2014 ランク
1	London	1	Tokyo	1	New York	1	London	1	Paris	1	Geneva	1	London	1
2	New York	2	New York	2	Tokyo	2	New York	2	Berlin	3	Stockholm	2	Paris	2
3	Tokyo	4	London	4	London	3	Paris	3	Vancouver	2	Zurich	3	Amsterdam	3
4	Paris	3	Beijing	3	Los Angeles	4	Singapore	4	Vienna	4	Frankfurt	4	Frankfurt	4
5	Singapore	5	Singapore	6	Boston	5	Berlin	5	Amsterdam	8	Vienna	6	Seoul	5
6	Seoul	6	Hong Kong	5	Seoul	6	Tokyo	6	Madrid	11	London	7	New York	7
7	Berlin	8	Paris	12	Paris	7	Istanbul	9	Osaka	12	Singapore	5	Hong Kong	6
8	Amsterdam	7	Sydney	9	Singapore	8	Vienna	8	Frankfurt	16	Tokyo	9	Singapore	8
9	Hong Kong	9	Zurich	8	Chicago	9	Beijing	7	Milan	9	Copenhagen	8	Tokyo	10
10	Sydney	13	Shanghai	7	San Francisco	10	Los Angeles	11	Copenhagen	13	Berlin	10	Shanghai	11
11	Vienna	10	Toronto	10	Osaka	11	Sydney	10	Barcelona	5	Madrid	12	Barcelona	16
12	Frankfurt	11	Washington, D.C.	13	Hong Kong	12	Brussels	13	Toronto	14	Seoul	11	Madrid	14
13	Zurich	12	Seoul	11	Washington, D.C.	13	Seoul	12	Stockholm	10	Sao Paulo	15	Milan	13
14	Stockholm	16	Stockholm	15	Sydney	14	Barcelona	14	Shanghai	19	Sydney	14	Berlin	17
15	Beijing	14	Vancouver	14	Shanghai	15	Madrid	17	Zurich	7	Paris	16	Istanbul	9
16	Shanghai	15	Amsterdam	18	Berlin	16	Moscow	18	Geneva	6	Amsterdam	13	Taipei	19
17	Los Angeles	20	Berlin	19	Toronto	17	Amsterdam	15	Fukuoka	15	Milan	18	Bangkok	12
18	Toronto	17	Geneva	16	Taipei	18	Mexico City	20	Tokyo	17	Washington, D.C.	17	Vienna	20
19	Copenhagen	18	Copenhagen	17	Moscow	19	Bangkok	16	Taipei	18	Bangkok	21	Brussels	15
20	Madrid	19	Frankfurt	20	Stockholm	20	Shanghai	19	Mumbai	25	Hong Kong	19	Copenhagen	21
21	Washington, D.C.	24	Istanbul	21	Beijing	21	Chicago	21	London	21	Vancouver	23	Osaka	29
22	Vancouver	22	San Francisco	24	Zurich	22	Washington, D.C.	23	Seoul	23	New York	25	Zurich	23
23	Osaka	26	Kuala Lumpur	25	Amsterdam	23	Milan	22	Beijing	24	Los Angeles	20	Toronto	22
24	Milan	25	Taipei	23	Vancouver	24	Toronto	24	Brussels	20	Fukuoka	22	Chicago	24
25	Istanbul	21	Osaka	22	Vienna	25	San Francisco	25	Kuala Lumpur	22	San Francisco	24	Sydney	28
26	Brussels	23	Boston	26	Fukuoka	26	Hong Kong	26	Sydney	27	Boston	27	Boston	26
27	Chicago	31	Chicago	29	Geneva	27	Stockholm	27	Bangkok	28	Toronto	26	Moscow	18
28	Bangkok	29	Brussels	28	Frankfurt	28	Boston	28	Istanbul	26	Kuala Lumpur	29	Stockholm	30
29	Barcelona	27	Sao Paulo	33	Brussels	29	Copenhagen	29	Chicago	33	Taipei	28	San Francisco	31
30	Boston	30	Los Angeles	30	Istanbul	30	Kuala Lumpur	35	Los Angeles	35	Barcelona	31	Beijing	27
31	San Francisco	32	Bangkok	32	Copenhagen	31	Frankfurt	31	Washington, D.C.	30	Osaka	30	Kuala Lumpur	25
32	Geneva	28	Vienna	27	Madrid	32	Vancouver	32	Hong Kong	34	Brussels	32	Fukuoka	37
33	Taipei	33	Moscow	31	Barcelona	33	Sao Paulo	33	New York	29	Chicago	33	Vancouver	32
34	Kuala Lumpur	34	Mexico City	36	Bangkok	34	Zurich	34	Sao Paulo	32	Mexico City	36	Washington, D.C.	33
35	Moscow	35	Milan	37	Kuala Lumpur	35	Osaka	30	Mexico City	31	Istanbul	35	Cairo	34
36	Fukuoka	36	Fukuoka	34	Milan	36	Cairo	36	San Francisco	36	Moscow	38	Los Angeles	36
37	Sao Paulo	38	Madrid	35	Sao Paulo	37	Mumbai	37	Cairo	39	Mumbai	34	Mexico City	35
38	Mexico City	37	Barcelona	38	Mexico City	38	Geneva	38	Singapore	37	Shanghai	37	Geneva	39
39	Mumbai	39	Mumbai	39	Mumbai	39	Taipei	39	Boston	38	Beijing	40	Mumbai	38
40	Cairo	40	Cairo	40	Cairo	40	Fukuoka	40	Moscow	40	Cairo	39	Sao Paulo	40

順位上昇: 青字 順位下落: 赤字

2014年10月

---

**編集・発行**

一般財団法人 **森記念財団 都市戦略研究所**

---

装丁・印刷：日経印刷株式会社

本ランキングに関するお問い合わせ：

[info@mori-m-foundation.or.jp](mailto:info@mori-m-foundation.or.jp)

大和 則夫、佐々木 剛二、浜田 祐子

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

[www.mori-m-foundation.or.jp](http://www.mori-m-foundation.or.jp)

〒107-6004 東京都港区赤坂1丁目12番32号

アーク森ビル4F(私書箱547号)

TEL.03-6406-6800

---

COPYRIGHT©2014 The Mori Memorial Foundation. All Rights Reserved.  
このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。



# Global Power City Index 2014

1 London

2 New York

3 Paris

4 Tokyo

5 Singapore

6 Seoul

7 Amsterdam

8 Berlin

9 Hong Kong

10 Vienna

11 Frankfurt

12 Zurich

13 Sydney

14 Beijing

15 Shanghai

16 Stockholm

17 Toronto

18 Copenhagen

19 Madrid

20 Los Angeles

21 Istanbul

22 Vancouver

23 Brussels

24 Washington, D.C.

25 Milan

26 Osaka

27 Barcelona

28 Geneva

29 Bangkok

30 Boston

31 Chicago

32 San Francisco

33 Taipei

34 Kuala Lumpur

35 Moscow

36 Fukuoka

37 Mexico City

38 Sao Paulo

39 Mumbai

40 Cairo